

# 平成26年度 西東京市公民館 事業評価表

※ 評価欄 A～D  
 A・・・十分達成している  
 B・・・概ね達成している  
 C・・・今後の努力が必要  
 D・・・達成できていない

【目的】西東京市公民館事業評価は、公民館が持つ機能の充実を目指し、事業の改善を図ることを目的とする。

平成26年度 西東京市公民館 事業方針	西東京市公民館事業評価の指標
<p><b>【基本方針】</b>                      西東京市公民館は、地域住民の生活課題や地域課題を見据え、効果的な学習機会を提供し、市民の主体的な学びを支援することにより、地域づくりにつなげる視点を持って事業を実施していきます。                      人と人とのつながりを大切に地域社会の活性化を図るために、住民が学び・育ち、文化創造の担い手となって活動や交流ができる場として、市内にある6つの公民館が十分に機能するように運営していきます。                      また、障がい者、外国人、子育て中の保護者、高齢者などの社会的に制約を受けやすい人へ配慮し、誰もが学び集うことができるように、環境の整備に力を注ぎ施設の充実を図ります。                      このようして、市民が、公民館を拠点に、参加と自治を原則とした文化を創り上げていくことをめざした事業展開を推進していきます。</p>	<p><b>【重点事業】</b>                      1、防災意識の向上を図る                      2、公民館の特色を活かした事業展開                      3、新たな地域人材の育成や発掘                      4、いつでも・どこでも・だれでも学べる環境づくり                      5、利用者懇談会の充実</p> <p>①「西東京市公民館の事業評価のあり方について」に対する答申(平成23年4月27日)に基づき、公民館事業全体の総合的な評価を行う。                      ②数値のみでは表せない視点を盛り込んだ実績も積極的に評価に取り入れる。                      ③評価内容は柔軟な評価を目標にして、定期的に見直しを行う。(見直しは検討会議を開催する)                      ④事業評価の内容を公開する。                      ⑤評価結果は今後の公民館事業計画及び運営に反映させる。                      ⑥持続可能な社会づくりの観点で評価する。                      ⑦市民本位の公民館経営における事業展開を適切に評価する。</p>

項目	評価区分	評価内容	実績指標	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
					評価	評価及び課題 [◇・・・評価 ◆・・・課題]	評価	評価及び課題 [◇・・・評価 ◆・・・課題]
(1)	学級・講座 個別事業	<p><b>【学びの達成や発展】</b>                      達成感や学習者の価値観・生活行動の変容、新たな学びへのきっかけや継続につながる事業が展開できたか                      相互に学び合う関係性ができたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの達成</li> <li>・課題の発見や気づき</li> <li>・自己の意識や能力の変化</li> <li>・新たな学びへのきっかけ</li> <li>・相互学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学びの達成53件</li> <li>・課題の発見や気づき67件</li> <li>・自己の意識や能力の変化57件</li> <li>・新たな学びへのきっかけ53件</li> <li>・相互学習60件</li> </ul>	B	◇多くの事業で学習の達成、気づき、発見が確認され、学びの継続につながる事ができた。 ◆更に多くの事業に、学びの発展や継続につながる支援を図りたい。	B	◇事業終了後に実施している感想欄に基づいた受講生の評価は総じて高く、学習の機会を持ったことへの達成感が読み取れる。 ◆担当者のさらなる取り組みや努力に期待したい。
		<p><b>【地域課題学習の提供・学習ニーズの反映】</b>                      地域や市民の実態、学習ニーズを反映した事業の実施に努めたか                      市民が参加しやすい工夫を凝らしたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題の取り上げ</li> <li>・市民ニーズ反映の内容</li> <li>・新たな利用者の開拓</li> <li>・教育計画の反映</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域課題の取り上げ28件</li> <li>・市民ニーズ反映の内容31件</li> <li>・新たな利用者の開拓44件</li> <li>・教育計画の反映63件</li> </ul>	B	◇地域課題の取り上げや市民ニーズを反映した事業は全館で実施されている。 ◆今後も地域課題の解決に向けた積極的な事業展開を行い、市民本位でより参加しやすい事業の実施に努めたい。	B	◇公民館による評価の差は少なからずあるものの、社会的・地域的課題、あるいは生活課題に対する鋭い洞察に基づく事業が多く、高く評価されるものである。 ◆事業開設の意図が広く伝わることは、公民館の存在意義の発信でもあり、開設の意図・ねらいを受講者のみならず、利用していない市民にも届く工夫は、今後の課題にしたい。
		<p><b>【学習者の視点】</b>                      学習者の視点に立った、適切な事業実施ができたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートによるプログラム・講師・運営に対する学習者の満足度</li> </ul>	学習者の声 (A:満足 B:ほぼ満足 C:やや不満 D:不満) プログラムの満足度/AとBが合わせて98% 講師の満足度/AとBが合わせて98.8% 運営の満足度/AとBが合わせて96.7%	A	◇アンケート結果や学習者の声から、概ね満足の評価を得ている。 ◆満足度を分析しつつ、次の計画に適切につなげていくことが課題。	A	◇参加者のアンケートの評価に基づき、一定の妥当性を持つと判断できる。 ◆「学習者の視点に立つ」意味合いが、深められる必要がある。職員の力量が問われるところであり、今後の検討を期待する。
		<p><b>【プロセス重視の運営】</b>                      プロセス重視の事業企画・運営に努めたか                      市民の主体性を尊重し、自治能力の向上につながる学習の支援ができたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会、準備会</li> <li>・参加型の学習(グループワーク、ワークショップ等)の工夫</li> <li>・学習成果の発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会8件/準備会11件</li> <li>・参加型の学習の講座実施数57件</li> <li>・学習成果の発表24件</li> </ul>	B	◇講座の運営にプロセス重視の振り返りシートやグループ討議の手法を取り入れるなど、講座の運営方法が充実してきた。 ◆実行委員会の見直しが必要な事業も若干あるので、実践の反省を踏まえた展開を図りたい。	B	◇参加型学習や振り返りシートが活かされていて、一部の事業において、相当大きな成果を上げていることは高く評価できる。 ◆参加型学習の手法や実行委員会の運営のあり方は、職員の力量が問われるところであり、研修などの企画を持つ必要がある。
		<p><b>【協働・連携の視点】</b>                      協働や連携の視点で事業を企画・実施することができたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他部署、他課との協働・連携</li> <li>・他教育施設との協働・連携</li> <li>・地域NPO等との協働・連携</li> <li>・地域の人材との協働・連携</li> </ul>	協働・連携事業58件	B	◇地域の団体や市民との連携はますます進んでいる。 ◆他部署や他課、学校等との連携は多いとは言えない。それぞれの連携に工夫を図りたい。	B	◇協働・連携事業推進の条件が整っているため、事業展開は積極的に実施されている。 ◆他部署や学校との連携を進めるうえで、公民館の事業の特質や機能を明確に発信していくことに期待したい。
		<p><b>【だれでも学べる学習機会の提供】</b>                      社会的に制約を受けやすい人への配慮も含め、幅広い対象に向けて、学習の機会を提供することができたか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年対象・親子対象・子育て中の保護者対象・高齢者対象・障がい者対象・外国人対象などへ向けた事業実施</li> <li>・学習支援保育事業(※1)の実施</li> </ul>	青少年対象14件/障がい者対象5件/親子対象11件/成人対象42件/高齢者対象5件/子育て中の保護者対象3件/子育て中の保護者対象(学習支援保育)11件/男性対象1件/女性対象2件/外国人対象2件/多世代交流6件/視聴覚事業2件/地域交流事業13件/その他1件	A	◇幅広い世代に向けた事業を実施している。また、障がい者の理解に向けた事業展開の工夫が充実してきた。 ◆青年期対象事業への参加を促すには、さらなる工夫が必要。	A	◇障がい者や外国人など、学習機会において、社会的に制約を受けやすい層への配慮も丁寧で、誰でも学べる機会は充実して高い評価をもつ。 ◆青少年、なかでも中高生対象の事業は、容易なことではないにせよ、他部署との連携も視野に入れ、事業の広がりを期待したい。
	<p><b>【学びの課題】</b>                      多様な地域課題や社会的課題に対して、解決に向けた学習の機会を提供することができたか</p>	子育てに関する事業、環境に関する事業、人権、平和に関する事業、男女共同、生きがい、仲間づくりに関する事業等の実施	子育て22件/家庭教育16件/労働3件/貧困問題3件/高齢者問題10件/防災10件/障がい者6件/男女共同参加3件/人権17件/平和9件/環境5件/健康10件/国際理解11件/まちづくり19件/メディアリテラシー3件/食育11件/仲間づくり34件/生きがいづくり13件/その他2件	B	◇多様な課題に向けた事業を実施している。 ◆多様な課題提供のみにとどまらず、その質的向上に職員としての努力が必要。	A	◇じつに多彩な事業展開に高い評価を獲得している。 ◆課題へのアプローチは多様にあるべきで、その工夫に職員の努力を期待したい。	
<p><b>【重点事業に対する取り組み】</b>                      重点事業の成果につながる事業を企画・実施することができたか                      [重点事業:1、2、3、4]</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、防災意識の向上を図る</li> <li>2、公民館の特色を活かした事業展開</li> <li>3、新たな地域人材の育成や発掘</li> <li>4、いつでも・どこでも・だれでも学べる環境づくり</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、防災意識の向上を図る10件(他に利用者懇談会での講話、避難訓練など)</li> <li>2、公民館の特色を活かした事業展開44件</li> <li>3、新たな地域人材の育成や発掘 24件</li> <li>4、いつでも・どこでも・だれでも学べる環境づくり(新たな利用層)52件</li> </ol>	B	◇防災関係の事業や新しい利用者層の開拓への取り組みは、全体として進んでいる。 ◆公民館の特色を活かす事業については数多く実施されているが、それぞれの課題もあり、さらなる検討を図りたい。	B	◇重点事業に関連した事業は、多面的に展開されていることが評価できる。 ◆重点事業の計画性への理解が、公民館や職員相互に深まっているかどうか点検が必要である。今後に向けて、公民館から「重点」への再構成の提起を期待したい。		

項目	評価区分	評価内容	実績指標	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
					評価	評価及び課題 [◇●●評価 ◆●●課題]	評価	評価及び課題 [◇●●評価 ◆●●課題]
(2)	施設管理	【安全・安心のための管理と運営】 市民が利用しやすい教育施設の計画的な管理・運営を行う	・施設改修 ・定期点検 ・バリアフリー ・危機管理 ・個人情報の保護	・空調トイレ工事実施 ・エレベーター、AEDの保守点検:年1回実施 ・消火器の点検:年2回実施 ・危機管理マニュアル(不審者、クレーム、感染症などの対応)の作成 ・個人情報の適切な管理	B	◇各公民館は、設備の老朽化に伴い、計画的かつ定期的に施設修繕、工事を実施した。また、危機管理のマニュアルを作成、訓練を実施した。 ◆施設修繕、工事は予算が伴い、緊急時の対応が課題である。	B	◇安全・安心に関する物的空間としての施設整備は、解決すべき問題が放置されているとはいえない。むしろ、基本的な配慮が行き届いていると受け止めることができる。 ◆利用者にとって安心と安全の確保は、明るさ、開放感が重要であって、その点での改善策が、もっと進められることを期待したい。
		【学習環境としての整備】 市民の学習権を保障する施設として、エコの観点に配慮しつつ、利用者が快適に使える環境整備を行う	・学習支援としての備品、貸出し物品の定期点検、整備 ・障がい者や高齢者、幼い子を持つ母親等に優しい施設環境の整備(エレベーター、トイレ、授乳スペース等) ・節電や省エネ等の適切な実施 ・団体連絡箱の適切な提供	・備品定期点検を年2回実施 ・各部屋の状況確認、貸出物品の整備・修繕を適切に行っている ・電灯の間引き、扇風機の導入等で計画的に適切な節電を進めた ・団体連絡箱利用の更新(年1回)を行っている ・求めに応じて、印刷室を適宜提供した	B	◇定期的に備品や設備の点検を実施している。 ◆限られた予算の中で、より計画的な購入や修繕の実施が必要。	B	◇物的空間と備品への対応は評価できる。また、一定の環境への配慮も進められていることは評価できる。 ◆予算を増額して、さらなる学習環境の物的整備を図ることを求めたい。学習環境の整備は多面的にとらえる必要もあり、人的対応なども環境の一つとして積極的に検討していくことを期待したい。
		【情報収集・発信の場】 ロビーを中心とした、情報収集・発信の場として計画的な管理・整備に努める	・館内掲示箇所の整備 ・公民館だよりの館内整理 ・定期刊行物の整理 ・チラシ、会員募集等の随時整理	・ロビーや館の掲示箇所を適切に活用している ・公民館だより、定期刊行物などを見やすくストックしている	B	◇館内掲示板、チラシ配置などの管理・整備に努めた。 ◆各館の施設状況の違いから、チラシの配置、ポスター掲示の仕方によってはばらつきがあり、より良い方法についてさらなる工夫が必要。	B	◇館内掲示やロビーの活用が充実していて評価できる。 ◆一部の公民館においては、もう一段の工夫が求められる。
		【防災】 地域防災力の向上と防災を意識した施設管理に努める	・避難訓練の実施 ・防災に関する講座等の実施 ・防災対応マニュアルの作成 ・防災備品の購入 ・帰宅困難者一時滞在施設としての整備	・防災に関する講座、避難訓練の実施10件 ・利用者懇談会での講話実施(田無・駅前) ・意識向上のポスター等の掲示 ・防災対応マニュアルについては作成中である ・帰宅困難者一時滞在施設として、備品の配置を行った	C	◇各公民館で防災関連の訓練もしくは事業を実施した。 ◆関連部署、市民との連携の強化が今後の課題であり、市のマニュアルに沿った公民館のマニュアルの早期作成が必要である。	C	◇防災への取り組みが定期的に行われており、評価できる。 ◆マニュアルの見直しと施設ごとのマニュアルを検討することが必要である。
		【重点事業に対する取り組み】 重点事業の成果につながる事業を企画・実施することができたか [重点事業:1]	1、防災意識の向上を図る(* 防災の項目と重複)					

項目	評価区分	評価内容	実績指標	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
					評価	評価及び課題 [◇●●評価 ◆●●課題]	評価	評価及び課題 [◇●●評価 ◆●●課題]
(3)	広報	【公民館だより】 公民館だよりを通して、市民に公民館や地域に関する情報を発信する	・公民館だよりの定期発行 ・編集室会議、担当者会議による内容の充実	・年12回の公民館だよりの発行 ・編集室会議、担当者会議を各月1回実施	B	◇毎月全戸配布に向け、その記事内容の充実を図ることができた。 ◆より多くの市民に読まれるような工夫が必要である。	B	◇内容の充実と編集室会議の優れた運営において高く評価される。 ◆公民館だよりの認知度を高め、少しでも多くの市民に読んでもらう工夫が必要である。
		【幅広い広報】 事業に関しての広報を、公民館だより以外の様々な手段や媒体を利用して行う	・チラシ、ポスターの掲示・郵送による広報 ・公民館の刊行物による広報(各公民館のニュース等) ・ホームページを有効活用した広報 ・声かけや外部へ出向いての説明など	・ポスター、チラシによる広報を実施 ・ホームページにアップした事業67件 ・武蔵野大、市内小中高校等の教育施設、外部機関などで広報47件	B	◇ポスター、チラシ、ホームページなど幅広く広報を行った。 ◆ホームページのさらなる充実と外部施設への広報手段の開拓が課題。	B	◇HPにアップされたことで、利用していない市民のアクセスにもつながり、1つの成果と見なすことができる。 ◆ポスターやチラシ配布の広報活動については、引き続き工夫が必要である。
	学習相談	【学習情報整理】 学習情報の収集・整理・共有を行い、市民の学習に繋がるような情報提供を行う	・団体一覧の更新(年1回) ・団体の登録の更新(5年に1回) ・各団体の館内掲示物の整理や保管	・団体の定期的な活動情報の更新(年1回) ・団体の登録内容の詳細な確認(5年に1回) ・適切な学習情報を市民に提供する準備をした	B	◇日常的、定期的な活動情報の更新を行い、学習情報の整理に努めた。 ◆団体情報の提供には工夫の余地がある。	B	◇おびただしい数の情報を一定程度把握できていることは評価できる。 ◆他機関との連携を進めることによって、地域情報の収集が課題である。
		【窓口対応における学習支援】 市民の学習の質を高め、継続的なものにする事ができるように学習相談を実施する	・窓口における学習相談や電話による学習の情報提供 ・学習活動を行う中で、障害になるような問題や悩みの傾聴とその解決方法の助言をする	・窓口における学習相談や電話による学習の情報提供290件(6館総計) ・サークル紹介冊子作成・配布(芝久保・ひばり・駅前) ・サークル紹介用ファイル設置(田無)	B	◇窓口における学習相談や電話による学習の情報提供は、適宜行った。 ◆公民館以外の部署との連携にかかる相談と支援の対応が課題。	B	◇窓口業務は公民館の重要なポイントであり、一定の成果を獲得している。 ◆多面的な学習支援の方法を開拓することが課題になっている。
	対応力	【対応力の向上】 市民本位の視点に立った対応力向上のために職員間の知識・情報の共有や職員研修を行う	・職員研修の実施 ・担当者会議の実施 ・職員情報共有の打ち合わせ実施	・定期的な職員研修6回 ・各担当者会議(保育担当11回、市民企画担当9回、公民館だより担当24回、事業計画PT9回、事業評価PT18回、障がい者担当4回、防災担当0回実施、団体情報検討会議2回実施、適正配置検討会議3回実施)	B	◇職員研修を定期的に行うことで、公民館職員として一定レベルの知識には到達できている。 ◆情報の伝達(職員間の共有)が効果的にできている館と、できていない館がある。全館レベルで一層の共有化を図り、各館の状況を踏まえ、より良い窓口対応を模索していくべきだと考える。	B	◇公民館職員の自己研さんを含めて、対応力が高いと評価できる。 ◆研修の機会の拡充が課題である。
	ロビー活用	【ロビーの有効活用】 ロビーでの事業を通して、公民館事業の情報を市民に発信すると共に、学びのきっかけとなる場の提供を行う	・公民館主催のロビー企画・展示 ・サークルや市民によるロビー企画・展示 ・主催事業報告の展示 ・いこいや交流の場として提供	・公民館主催のロビー企画・展示50件 ・サークルや市民によるロビー企画・展示84件	B	◇ロビー企画や事業報告等、公民館に立ち寄った市民に公民館での活動を伝える手段として有効活用している。 ◆公民館ごとに状況が異なり、一概に有効活用できているとは言えないところもある。さらなる地域情報の提供も課題。	B	◇ロビーの活用によって、利用者の広がりや創り出していることは評価できる。 ◆各公民館のロビーの特色を活かした利用の工夫が求められる。
重点事業	【重点事業に対する取り組み】	※該当なし						

項目	評価区分	評価内容	実績指標	実績	公民館(1次)評価		公民館運営審議会(2次)評価	
					評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]	評価	評価及び課題 [◇・・評価 ◆・・課題]
(4) 長期的視点での人づくり	単年度学習成果	【発掘・紹介】 地域に貢献している団体・人の発掘・紹介を行う	・公民館だよりでの団体紹介 ・公民館だよりでの人物紹介	・公民館だよりで団体紹介7件 ・公民館だよりで人物紹介10件	B	◇公民館だよりで団体や人物紹介を積極的に行った。 ◆より積極的な地域人材の発掘に努めたい。	B	◇新しい仲間が増える機会に公民館が大きな役割を果たしていることは評価できる。 ◆発掘した地域の仲間を横につなげる活動を期待したい。
		【学習の継続と成果】 学習の継続、発表、記録の作成の機会を提供する	・主催講座からサークル化した団体数 ・講座、サークル活動のまとめ等 ・記録誌、記念誌の発行	・サークルの立ち上げ20団体 ・講座後の保育のまとめ:年1回 ・サークル活動の記録誌 ・まつり記念誌発行(谷戸、田無、芝久保)	A	◇主催講座からのサークル立ち上げが多数あり、学習成果の記録誌等が発行されている。活動の振り返りや新たな気づきにつながる重要な活動であり、今後も公民館として積極的に支援していく。 ◆多くの主催講座で記録づくりに取り組みたい。	B	◇学習の継続をサークルの立ち上げという点で一定の評価はできる。 ◆記録誌の発行にとどまらず、学習の記録が図書館や関連機関との連携によって、幅広く目に触れる機会を期待したい。
	経年学習成果	【育成と活用】 公民館での長期的な活動を通して、学びを地域に発信・還元する人材の育成・活用を行う	・学びを通して、地域活動を実践する人材の育成と活用 ・職場体験の受入 ・地域交流等の実行委員会 ・その他、能動的(積極的)に地域活動に関わる人材の育成 ・学習支援保育(※1)の実施	・学習支援保育利用の自主サークル26団体 ・職場体験の受入9件 ・まつり等実行委員会8件 ・活動団体のメンバーが講師として協力する講座の企画事業22件 ・学習支援保育講座10件	B	◇職場体験の受入、学習支援保育、まつり等の実行委員会などを通じ人材育成に向けた支援は進んでいる。 ◆積極的に地域活動にかかわる人材の支援や活用については工夫が必要である。	B	◇利用者団体・グループの継続的活動を支援する体制は大いに評価される。 ◆学習者の継続した活動をサポートする体制の拡充に期待したい。
		【学びの還元】 公民館での長期的な活動を活かし、学習成果の地域還元や蓄積の活用・発信を行う	・地域交流事業への参加支援 ・まつりの実施 ・公民館ロビーでの展示、発表 ・記録誌の活用 ・学習成果の振り返りのインタビュー、座談会等の実施 ・市民企画事業の実施(※2)	・芝久保公民館30年誌を作成した ・フェスティバルの開催:田無、ひばりが丘、柳沢、保谷駅前 ・まつりの実施:谷戸、田無、芝久保 ・ロビーコンサートの実施:柳沢、田無 ・市民団体による学習の成果発表数84件 ・公民館の学習に記録誌を活用した ・市民企画事業の実施43件	B	◇まつりや定期的な市民交流事業(フェスティバル、ジョイントコンサート等)での経年学習成果の発表機会は充実している。ロビーでの発表も昨年より盛んになってきている。 ◆インタビューや座談会ほか、地域交流事業の新たな展開も図りたい。	B	◇多彩な住民の事業展開は、サークル、市民企画事業に反映して高く評価できる。 ◆将来的な課題として、公民館以外で学んだ人々への学習成果を生かす場としても検討したい。
	市民参加	【市民参加の推進】 市民本位の公民館運営の実現のために、事業の企画・運営の過程で市民が参加しやすい場を保障する	・公民館運営審議会の開催(月1回) ・市民参加による公民館だよりの作成 ・市民企画事業実施のための会議の回数 ・事業実施のための準備会開催	・公民館運営審議会の開催12回 ・公民館だより編集室会議開催(市民スタッフの参加)12回 ・市民企画事業実施のための会議15回 ・事業実施のための準備会11件	B	◇公民館運営審議会や公民館だより編集室会議(市民スタッフ参加)の定例開催は定着し、市民スタッフとは別に記事の執筆という形で市民の紙面参加も実現している。 ◆事業実施のための準備会件数等については充分であるとは言えない。さまざまな形で市民参加の場を保障できるよう努めたい。	B	◇公運審や公民館だよりを通し、また利用者懇談会を通して充実した取り組みになっている。 ◆公民館を利用していない市民へのアプローチをすすめるための方策を検討して、参加の幅を広げたい。
	地域づくり	【住民自治力向上の支援】 住民主体の課題解決につながる地域づくりを支援する	・市民企画事業の実施 ・利用者連絡会の設置 ・利用者懇談会の開催 ・公民館保育室の提供による自主活動	・市民企画事業の実施43件 ・すべての公民館で年2回の利用者懇談会を定期開催 ・公民館保育室の提供による(学習支援保育以外の)自主活動団体20団体	B	◇市民企画事業、学習支援保育事業は、制度の確立及び予算の確保があり、利用団体活動の支援を行っている。 ◆市民企画事業、学習支援保育事業は、運用上はまだ工夫が必要。	B	◇市民企画事業の実施については高く評価できる。 ◆自治の力の形成には、学級講座以外の事業の充実を検討を加えていく必要がある。
		【届ける社会教育】 公民館の施設にとどまらず、地域全体に向けた社会教育事業を実施する	・学校、教育施設、市施設へのPRや説明 ・外部機関への公民館事業の説明、協力依頼 ・公民館だよりを通して、社会教育的な課題の提供	・学校などの教育施設、その他外部施設でのPRや説明12件 ・外部機関への公民館事業の説明、協力依頼47件 ・主に公民館だよりの1面で、地域課題等を掲載した	B	◇積極的に地域内の施設の利用、地域の団体、組織との連携を行うことを通じて社会教育の理解を深めるきっかけとなった。 ◆アウトリーチ型の学びや情報提供については、さらに工夫する必要がある。	B	◇事業が広がりを持っていることから、「届ける社会教育」は視野に入って事業が実施されている。 ◆館外事業の積極的展開は、利用者拡大において期待されている。
	重点事業	【重点事業に対する取り組み】 重点事業の成果につながる事業を企画・実施できたか [重点事業:5]	5.利用者懇談会の充実 ・PR ・内容 ・運営 ・報告 の工夫	・参加人数 10月・・・124人(6館合計) 3月・・・294人(6館合計) ・内容・運営 企画講座/講話/グループ討議等 ・報告:利用者懇談会ニュース等の発行 (柳沢・田無・芝久保・ひばり・駅前)	B	◇各館で内容や運営方法等を工夫し、参加人数は増加傾向にあり、内容も充実してきた。 ◆さらに市民が参加しやすい懇談会になるような工夫が必要である。参加できなかった市民にもニュースの発行等を通して情報提供に努めたい。	B	◇利用者懇談会の意義がよく反映された運営に高い評価を得ている。 ◆利用者懇談会が有意義な組織へと充実を図るうえで、その日常的な活動をどう作りだしていくかが課題になる。

■※1. 学習支援保育とは…乳幼児を育てている市民に対して、多様な学習機会を保障し、出会いと学びあいの機会を生み出すような公民館の公費保育制度です。親子の学びと成長を継続的に支え、学びの成果を地域へ発信・還元できるように支援します。

■※2. 市民企画事業とは…市内の自主グループが企画した事業を一定の審査の上、公民館事業として実施するものです。自主グループが日頃の活動で培った知恵やノウハウを生かして市民にさまざまな学習機会を提供し、地域を豊かにすることが目的です。